



パンスターグループは“クルーズフェリー”の新造整備を決め、7月11日に韓国の大鮮造船と建造契約を締結して引き渡しは2024年末です。大阪・関西万博が開催される2025年に釜山～大阪航路に就航させる計画で釜山港ワンナイトクルーズなども予定しています。パンスターが船を新たに建造するのは初めてです。

新造船は2万2000総トンで、全長170メートル、定員399人（乗客353人、乗組員46人）、貨物250TEU。全ての客室にバルコニーを設けるほか、マッサージルームやセラピールーム、サウナ、フィットネス、寿司バー、カフェテリアなど多様な施設を設置し、乗客が船旅を楽しめる“クルーズフェリー”になります。デッキには屋外プールやジョギングトラック、宴会場なども設けます。

性能面では、韓国建造のフェリーとして初めてディーゼルエンジンに電気モーターと発電機機能を追加し、燃料消費と排ガスを大幅に減らす環境に優しいエコハイブリッド推進方式を導入して、船体の揺れを最小化するフィンスタビライザーも設置する。